

広報委員会

SAKの広報に携わるようになってから、早くも10年の月日が過ぎようとしています。なんでこんなことを言い出すのかと言いますと、今年は連盟創立70周年ですが、10年前の60周年のときに、広報委員として記念誌発行と記念式典のお手伝いをしたことかが、大げさに言うと連盟との出会いだったわけです。この10年間で、「やっと」なのか「もうなのか、いろいろの思いがありますが、広報委員会の仕事を通じてたくさんの人たちと出会えたことで、私の人生が豊かなものになったことは確実で、こういう場を与えてくださった皆さん、またいつも協力を惜しまない委員会のメンバーに、感謝の意を表したいと思います。

さて、私たち広報委員会の活動は、「SAKだより」の編集・発行、「SAKのホームページ」の編集・公開、評議員会、理事会等の会議録作成、そして各本部の行事取材など多岐にわたっています。

ホームページでは、最新の情報を現場からいち早くと思い、スキー場から戻ったその日に写真データをSAK-archivesのサーバに転送しているかと思えば、ずいぶん後になってこっそり行事報告をアップしてみたりと、フットワークも軽い、頭も軽い状態です。SAKだよりは、紙ベースのメディアならではの紙面構成と記事づくりに気を配っているつもりですが、連盟の財政状況から奇数号がWeb化される事態となっています。また、各種会議録作成は、一般の会員の皆さんにはなじみが薄いかもかもしれませんが、（県連HPで公開しています）、財団法人という組織では非常に重要な仕事だとの認識で作業に当たっていますが、正直これは大変です。（ちょっと愚痴）

しかし、会員の皆さんとの一番の接点は、雪上の各種行事の取材の時だと思います。「SAK PRESS」というロゴ入りの黒いベストを見かけたら、気軽に声をかけてください。あなたの写真（もちろん、個人情報保護はします）がSAKホームページ（特にSAK-archivesはあきれくらい写真で一杯！）に載るかもしれませんよ。そんなことを通して、私たちは、会員の皆さんに旬の情報をダイレクトにお届けし、皆さんの生の声を県連内部に伝えるパイプ役になりたいと思っていますので、よろしくお願いします。



（財）神奈川県スキー連盟
広報委員会
委員長 守谷 紀幸